

人間主義作家—池田大作博士への称賛

ドゥルヴァウ・デ・ノローニャ・ゴヨス・ジュニオル

ご列席の皆様、本日、ブラジルのサンパウロ市にお集まりいただいたのは、ブラジル作家連盟を代表し、偉大な人間主義者であり仏法の師匠かつ代表者である池田大作博士に受けるに値する表彰を授与するためです。池田博士は1947年に創価学会に入会し、1975年に世界の恒久平和を推進する団体である創価学会インタナショナルを創立されました。

これに関連して池田博士は「あらゆる文明が様々な知恵を育んできました。今、全世界が直面している問題を解決するためには智慧を集結するときです。その唯一の方法は、民族・宗教・思想的な差異を乗り越えた幅広い連帯を伴うことです。このように、差異の壁を超えて、全体的に社会の平和と幸福を推進することを（我々は）目的としています」と示しています。

2014年の記念提言に、池田博士は「一人一人の無限の可能性を引き出すエンパワーメントを基礎に置き、「価値の創造を結実してこそ、社会的な変化を起こすことができる」「人間革命」を呼びかけられました。更に、博士は「他者に尽くす行為が放つ光がそのまま、自信の尊厳を照らし返す光となっていく」と綴られました。

作家として、池田博士は「深い悲しみを抱えた友の心に希望の灯りを灯す」働きかけをします。博士は「勇気の炎を灯し、人間にリズムカルな凱歌を轟かせます。そして共に正義の大道を歩む」ために筆をとります。

ブラジル作家連盟はブラジルで最も歴史が古い作家協会であると同時に人間主義に直結した価値促進に向けた長い伝統を有します。歴史的にみますと、本連盟は法の支配、民主的な自由、人権、経済と社会的発展、そしてブラジル文化遺産の保護のために行動してきました。

ガブリエル・ガルシア・マルケスが指摘したように「世界を動かすことができるエネルギーはラテンアメリカとカリブの決定的な貯蔵だ。それは民衆の危険な記憶である。全ての原料が存在する以前の巨大な文化遺産なのだ」。実は、わたしたちが今いる場所に暮らしていたブラジルの原住民のトゥピ・グアラニ族の神話に、文字の女性の神アスチーが存在していました。それに限らず、ポエムの神ピセーや物語の神グアイピラ、雄弁の神グラサイー、そして名誉、善意と正義の神パラジャスがいました。これら全ての神は女性です。

このような気高い価値観に加え、ブラジルで使われているポルトガル語にはトゥピ・グアラニから約2万2千語が増したことで豊かになりました。それら

の多くの言葉は国土の自然環境に対する敬意を表し、本連盟もこの考えを貫きたいと存じます。この文化遺産そしてそれに伴う多様な影響は国際的に、そして多くの場合、地元でも評価されていません。我々の多くの人間主義者たちはノーベル賞を受賞できず、我々の大いなる志も評価されないこともあります。

今の世の中は、いわゆるグローバル化の運動による文化的差異撲滅の脅威にさらされています。これは卑劣な自民族中心主義に影響され、商業的な利益を目指す、文化的に優位である誤った認識をもつ少数が推進していることです。その中で、池田博士の人間主義的な価値を推進される声は善意ある人間の願いを代弁しています。

このような理由から、本連盟は本日池田大作博士に謹んで「在外名誉会員」証を授与させていただきます。

本日はありがとうございます。